

平成27年度 5月定例会会議録（概要）

◎招集年月日 平成27年5月14日（木）

◎開催日時 平成27年5月25日（月） 午後3時～午後5時9分

◎場 所 伊那市役所 庁議室

◎出席委員 松田教育委員長、宮脇職務代理者、平澤教育委員、田畑教育委員

◎欠席委員 なし

◎出席職員 北原教育長、大住教育次長、北野学校教育課長、小松生涯学習課長、捧文化振興課長、酒井スポーツ振興課長、森田高遠長谷教育振興課長、中村指導主事、唐木指導主事、山崎教育総務係長

1 開 会（教育次長）

2 委員長あいさつ

3 委員のひと言（教育長）

4 会議事項

第1 教育長報告

- ・資料に基づき教育長報告
- ・委員長から、日を改めて全国都市教育長協議会の報告を求める発言があった。

第2 議案

（1）伊那市通級による指導実施要綱の一部改正について

- ・資料に基づき学校教育課長説明
- ・委員長から、伊那小学校の「ことばの教室」は従前から開設されているが、今回改正が必要となる理由が問われ、学校教育課長より、従来近隣市町村の教育委員会及び県教育委員会と連携する中で、実施要綱を設けずに運用してきたが、昨年、伊那北小学校に「学びの教室」ができたことをきっかけに、要綱整備した。この時、近隣市町村からの受け入れ条項を設けなかったため、実態に合わせ追加したいとの説明があった。

第3 協議事項

（1）伊那市教育委員会運営方針について

- ・資料に基づき委員長説明
- ・職務代理者から、教育委員の徹底した議論に関し、非常勤という立場で本気で議論する機会が少ない。定例会は議事が多く自由闊達な議論になりづらい。非公式

で話ができる場の設定を希望するとの意見があった。

- ・委員長から、提案を大事に受け止め、事務局で計画するよう指示があった。
- ・委員から、明日行われるキャリア教育第2回産学官交流会などを通じ、職業体験学習に留まらず、人生設計の仕方や、生活の場として地域をとらえる視点を取り入れた授業展開を行うことが、方針で示された「地域素材の教材化」につながる と考える。方針にキーワードとして「キャリア教育」を入れ込んで欲しいとの発言があった。
- ・委員から、合議を導くための情報収集に関し、新聞報道で初めて事業実施を知る ようなことがある。特徴的な活動について、情報発信に努めて欲しいとの意見が あった。
- ・委員長から、長谷小学校の音楽集會に、他校の学校関係者、学校関係者でない人 の参観する姿が見られるようになった。教育委員は、是非一度参観してみたいと の発言があった。
- ・委員長から、学校教育課長に、情報提供に努めるよう指示があった。
- ・職務代理者から、情報提供の仕方に関し、現状の文書等の紙ベースでの送付に代 え、メール送信への切り替えも検討して欲しいとの意見があった。
- ・教育長から、文化振興課の事業に関し、各館で素晴らしい企画・特別展等を行っ ている。委員への情報提供にメール活用することにより、漏れなく配信できるの ではないかとの意見があった。
- ・委員長から、出された意見を基に修正のうえ、今年度の方針としていくとの発言 があった。

第4 報告事項

(1) 主幹指導主事学校訪問日程について

- ・資料に基づき学校教育課長説明
- ・委員長から、指導主事の学校訪問の形態が変更となり、従来通りの教室訪問を行 う1日日程の「A日程」と、校長・教育委員との懇談のみ行う3分の1日日程の 「B日程」の2形態に区分されたとの説明があった。
- ・職務代理者から、B日程で1日1校または2校という日程があるが、短時間で終 了するのか質問があり、教育長より、詳細はこれから詰めるが、固定的なスケジ ュールでなく各校の規模等特性に応じたものとなるとの説明があった。
- ・調整の結果、事務局提示の計画により実施することとなった。

(2) 小中学校運動会・文化祭について

- ・資料に基づき学校教育課長説明
- ・調整の結果、事務局提示の計画により実施することとなった。

(3) 伊那市小学生総合的な学習発表交流会について

- ・資料に基づき学校教育課長、指導主事説明

- ・委員長から、発表のための発表にしないようにするための方策を問われ、指導主事より、教師主導の発表でなく、子どもたちが自分たちの仲間や観客に何を伝えたいのか、どう伝えたいのか、考えるところから学習を進めていきたいとの説明があった。
- ・委員長から、長野県の全国学力テストの結果報告によれば、総合的な学習の時間に力を注いでいる学校と学力テストの結果は相関関係にある。それは、総合的な学習を追究活動として取り扱っている成果である。1月の発表会に向け、どういうふう子どもたちが追究活動をしていくのかに注力していかないと、ただ発表するだけに終わってしまう。発表のための発表にならないようにするため、追究活動を発表するところに視点を置く必要があるとの発言があった。
- ・教育長から、伊那小学校の総合的な学習における藍染の発表にあったように、「運命が私を変えるのではなく、私が運命を変えていくのだと思った。」というような追究は、自然の中で失敗をして、それを大事に大事にした体験から生まれてくると思う。そうした子どもたちの追究活動が、そのまま出てくる発表が求められているとの発言があった。
- ・委員長から、発表のための発表では、子どもたちと教師の負担になる。貴重な時間と費用をかけるので、実行委員会で共有し、追究活動の発表として成果が上がるようお願いしたいとの発言があった。

(4) 図書館システムについて

- ・資料に基づき文化振興課長説明
- ・職務代理者から、将来的に市内・上伊那管内図書館どうしの共同利用が可能になるのかとの質問があり、文化振興課長より、現行のシステムでもそれぞれの場所で検索・予約できるが、導入済システムが保障切れを迎えるため更新するものであるとの説明があった。

(5) 大学ラグビー招待試合について

(6) 第20回伊那市小中学生陸上競技記録会について

(7) 平成27年度伊那市民体育祭期日・会場一覧及び開会式担当について

(8) 伊那市健康応援ポイント事業について

- ・資料に基づきスポーツ振興課長説明
- ・委員長から、24日(日)に陸上競技場で行われた大会について質問が出され、スポーツ振興課長より、上伊那郡小中学校陸上大会が行われたとの説明があった。
- ・委員長より、郡大会にも伊那市からの参加があったのか質問が出され、スポーツ振興課長より、参加しているとの説明が、教育長より、郡大会は、県大会、全国大会へつながる大会であり、市の記録会は小中学生が自らの記録に挑戦する大会であるとの説明があった。
- ・委員長から、郡大会への出場には、標準記録等の設定があるか質問が出され、学校教育課長より、学校ごと人数制限があるだけであり、標準記録等の設定は

ないとの説明があった。

- ・委員長から、大会が重複開催されている感があるとの質問が出され、スポーツ振興課長より、そのことについて、昨年度アンケートを実施し、開催するという結論になった。今年度は開催するが、今後、意見があれば再検証するとの説明があった。
- ・教育長より、締め切りまでの参加申し込み予想が問われ、スポーツ振興課長より、現在までの申し込みは小学校8校、中学校4校であるが、今後数校の申し込みが予想されるとの説明があった。

(9) 共催・後援について

- ・資料に基づき学校教育課長説明
- ・質疑なし

(11) 【非公開】学校事故報告・給食への異物混入について

- ・資料に基づき指導主事説明

(12) 【非公開】不登校及び不登校傾向児童生徒数の実態調査について

- ・資料に基づき指導主事説明

(13) 【非公開】いじめに関する実態調査について

- ・資料に基づき指導主事説明

5 その他（教育次長）

- (1) 6月の日程について
- (2) 7月以降の主な行事予定について

6 閉 会（委員長）